



新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

子どもの声を生かす学校づくり

学校長 税田 栄一

夏季休業を終え、学校に子ども達の元気な声が戻ってきました。子ども達の笑顔や明るい声に、学校の日常が再び始まったことをうれしく感じています。その一方で、熊本地震、千葉豪雨などにより被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日々を取り戻されますことを願っております。

夏休みが始まる前、子ども達に「夏休みにしかできない経験をたくさんしてほしい」と話しました。夏休みも終わりに近づいたある日、学校の近くで出会った一人の児童が、笑顔で近づいてきて「これ、標本にするんだ。」と一匹のセミを得意げに見せてくれました。自分で見つけ、触れて、考えて、やってみる。そうした学校の外での経験もまた、子ども達にとって大切な学びなのだ改めて実感いたしました。こうした様々な経験が、これからの学校生活の中でどのように生きていくのか、とても楽しみにしています。

さて、横浜市では、夏季休業中に教育課程研究協議会が開催されます。これは、横浜市の教員が、これからの学校教育や授業の在り方について学んだり、各学校の実践を共有したりしながら、よりよい教育について考えるための機会です。今年度は、「子ども主体の学び」が大きなテーマの一つとなりました。今、子ども達の声を聴き、その思いや意見を教育活動に生かしていこうという動きが、横浜市において広がっています。

このような児童主体の取り組みの一環として、8月28日には港北区各小中学校の代表児童・生徒が参加する「横浜子ども会議」が開催されます。今後は、この会議に参加した児童からの報告を受け、全校で「いじめ」について話し合う機会を設け、児童が主体となったいじめ防止の取組を展開してまいります。自分の考えを伝え、それが学校や学級のルールづくりに生かされる経験は、子ども達が当事者意識をもち、主体的に考え行動する力を育む上でとても重要であると考えています。

夏季休業が明けると、子ども達は運動会に向けて動き始めます。今年度は、運動会を春から秋に変更いたしました。これにより、準備や話合いの時間をこれまで以上にしっかりと確保し、子ども達の思いやアイデアを積極的に取り入れながら、子ども達自身が「どんな運動会にしたいか」を考え、自分たちの手で創り上げていくプロセスを何よりも大切にしたいと考えています。

学校の主役は、子ども達です。これからも一人ひとりの声に耳を傾け、その思いや願いを教育活動に生かしながら、子ども達が自ら考え、仲間と協力し、認め合いながら成長できる学校づくりに努めてまいります。保護者、地域の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

